



沈降炭酸カルシウム

GS1-RSS



日本薬局方 500g
沈降炭酸カルシウム

CALCII CARBONAS
PRAECIPITATUS
Precipitated Calcium Carbonate
(沈降炭酸カルシウム「司生堂」)

SHISEIDO SEIYAKU CO.,
司生堂製薬株式会社
東京都新宿区下落合 2-12-10
TOKYO・JAPAN

平成4年3月版
※平成4年8月改訂
日本標準商品分類番号872344
承認番号等(6IAM)第2304号
(薬価基準収載)

【組成】

本品を乾燥したものは炭酸カルシウム
(CaCO₃: 100.09) 98.5%以上を含む。

【効能・効果】

下記疾患における制酸作用と症状の改善
胃・十二指腸潰瘍、胃炎(急・慢性
胃炎、薬剤性胃炎を含む)、上部消化
管機能異常(神経性食思不振、いわ
ゆる胃下垂症、胃酸過多症を含む。)

【用法・用量】

沈降炭酸カルシウムとして、通常成人
1日1~3gを3~4回に分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。

【性状】

本品は白色の微細な結晶性の粉末で、
におい及び味はない。

【取扱上の注意】

貯法：気密容器



【使用上の注意】

(経口)

- (1) 次の患者には投与しないこと
甲状腺機能低下症又は副甲状腺機能亢進症の患者
- (2) 次の患者には慎重に投与すること
 - 1) 腎障害のある患者
 - 2) 心機能障害、肺機能障害のある患者
 - 3) 便秘のある患者
 - 4) 高カルシウム血症の患者

(3) 副作用

- 1) 代謝異常 高カルシウム血症、アルカローシス等の電解質失調があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には、減量又は休薬等の適切な処置を行うこと。
- 2) 長期・大量投与 腎結石、尿路結石があらわれることがある。
- ※3) 消化器 悪心、便秘、下痢、また、まれに胃酸の反動性分泌等の症状があらわれることがある。
- ※4) 過敏症 痒痒感があらわれることがある。

(4) 相互作用

- 1) テトラサイクリン系抗生物質の吸収を阻害することがあるので、同時に服用させないこと。
- 2) 本剤の吸着作用又は消化管内・体液のpH上昇により、併用薬剤の吸収・排泄に影響を与えることがあるので、慎重に投与すること。
- 3) 大量の牛乳との併用によりmilk-alkali syndrome(高カルシウム血症、高窒素血症、アルカローシス等)があらわれることがあるので、観察を十分に行い、このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。
- 4) ビタミンDとの併用により高カルシウム血症があらわれやすくなるので、注意すること。

製造番号